

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和2年3月26日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4679500092
法人名	社会福祉法人 ともお会
事業所名	さくら園グループホーム
所在地	鹿児島県大島郡知名町アギナ1949番地 (電話) 0997-93-5151
自己評価作成日	令和2年2月23日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和2年3月16日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

：同敷地内には、特養、デイサービスセンター、居宅介護支援事業所、給食サービスセンターが併設され慰問見学、誕生会などに出かけ、合同行事の夏祭り、敬老会には家族親戚の方と一緒に参加され保育園児や字婦人会に踊りの協力ももらい地域の方達との交流の支援を行なっています。又嘱託医、看護師による医療面の連携、協力体制も整っています。
 ：毎月外部の講師による音楽療法では、手話を交えて歌い、鈴や太鼓などの楽器を使って合奏を楽しまれています。
 ：居室には洗面所、トイレがありプライバシーや、清潔が保たれ、一人ひとりの力に応じた役割、趣味活動の支援を行なっています。

- ・当事業所は併設施設と合同行事の敬老会・運動会・夏祭り等に参加したり、地域の婦人会や保育園児とのふれあいや近隣の方から野菜や花の差し入れもあり、親しく地域との交流を行っている。
- ・職員会は定期的に月1回開催し、職員の提案で勤務時間を見直した事で業務がスムーズにできたり、ケアに関する事や食事形態を変更するなどよく話し合い運営に反映している。
- ・馴染みの場所や店・自宅・畑を見に外出したり、家族と外食・外泊・旅行に行く事などもある。友人等の面会時は自室でゆっくりと過ごせるように配慮し、馴染みの関係が途切れないように支援している。
- ・食事を楽しむ支援では、事業所で家族と一緒にバイキングをしたり、職員とおやつ作りやドライブ先でお茶を楽しんだりしている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	事業所全体の理念、グループホーム独自の理念をホールに掲示しており、職員はケア会で朗読し業務を振り返り、理念を共有し日々の業務で実践に向けて取り組んでいる	事業所の理念を玄関入口やホールに掲示し、ケア会で唱和し、理念に添って事業所理念を共有し実践している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	合同行事の夏祭りや敬老会には字の婦人会や保育園の参加があり又地域行事やイベントに参加したり買い物や美容室でのカットやパーマ慰問見学などで地域との交流ができています	併設の施設と合同行事の運動会や敬老会・夏祭りに参加し、家族や地域の婦人会・保育園の親子とのふれあいや近隣の方からの野菜や花の差し入れもあり地域の一員としての交流を大切にしている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	研修会や勉強会で認知症について知識を高め認知症の理解や支援方法などアドバイスできるように努めている		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議では利用者の状況、事業経過報告をし意見交換を行なっている。参加者からの意見や要望はケア会等で全職員で検討しサービスの向上に努めています	定期的に運営推進会議を開催し、外部評価結果報告や入居者の状況等を報告し、参加者からも食事会で気づいた事の意見を話し合い改善する等、サービス向上に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	町の担当者と電話での相談や情報交換、認定更新時を通じ連携が図られている。ホームだよりで行事やケアサービスの実情を伝え協力関係を築くように取り組んでいる	町主催の研修会に参加したり、介護認定の更新の件やホーム便りなどを届け、状況を報告し助言を得る等、行政との協力関係ができています。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	施設内外の研修、合同勉強会等で身体拘束についての知識を深め職員で情報を共有し連携を密にして身体拘束をしないケアを心がけている	身体拘束に関するマニュアルを基に毎年研修会を行っている。転倒防止についてやベッド柵の取り付けなど、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。玄関の鍵の施錠は夜間のみ行って、外出希望者には同行し見守りを行っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修会に参加した職員から伝達研修会に参加し、虐待の基礎的理解を深め常に虐待防止に努めている		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	役場や地域包括支援センターと必要に応じて連絡指導を仰ぎ情報を共有するように努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入居時契約書や重要事項説明書に沿って該当箇所を示しながら口頭で説明を行い、家族の方に不明な点がないか確認しながら納得していただけるようにしている</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>意見箱の設置や居室担当者を決めて利用者や家族が意見や要望を気軽に話せるように、職員一人一人が心がけている</p>	<p>意見箱は設置しているが直接、要望を受けている。訪問リハビリ活用の相談を受けるなど、管理者・職員は気軽に話せるような雰囲気での対応ができ、家族の意見が運営にも反映できている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎月の代表者会、職員会、ケア会で職員からの提案や意見を出し合える場を設けて運営に反映できるように努めている</p>	<p>職員会は月1回開催し、職員の提案で勤務時間の変更を行いスムーズに業務ができたり、見守り体制もできた。ケアに関してもアイデアを活かし、食事形態や排泄の見守りに取り入れ運営に反映している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員の資格取得や自己研鑽のための各種研修会への参加を推進し、社会情勢の変化に対応して諸規定の整備を図るとともに安心して働ける環境作りに努めている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>年間の内部研修計画書を作成し、それに沿って実施している。又島内の研修には勤務調整を図りながら全職員が参加できるように配慮している</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>他施設の職員や利用者との交流ができるように連絡を取り合いホームだより等で情報交換を図りサービスの質の向上を心がけている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人の生活歴、趣味など事前の情報を元に不安や困っていること、要望等を十分きかせていただき安心してサービスを利用できるように信頼関係の構築に努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居時にはこれまでの生活状況、心身状態を聞き取り不安なことや要望等を傾聴し安心していただけるようなサービスの提供を行なうことでいい関係作りに努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人や家族と相談、了解を得る必要としている支援を見極め情報を共有し他のサービスの利用も含めた支援を一緒に考えるように努めている		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一人一人の力に応じた作業と一緒に行動することで職員と利用者が家庭的な雰囲気の中で励ましあい、支え合いながら暮らしを共にする同士の関係を築いている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会の際にご本人の様子を伝えたり相談をしたりしている。行事への参加、通院への同行、状態の変化など事あるごとに連絡、相談を行いともに本人を支えていけるように協力を頂いている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族や知人の面会時には、居室でゆっくり過ごしていただけるよう支援している。なじみの場所へドライブに出かけ以前住んでいた自宅周辺や自宅に立ち寄り関係が途切れないように支援している	馴染みの美容室や店と一緒に رفتったり、家族が墓参りや外食・外泊・旅行に連れて行く事などもある。面会時は自室でゆっくりとして頂くようにしている。電話で会話するなど馴染みの関係が途切れない支援をしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ホームでの暮らしの中心となるホールではご本人の意向と相性の良さを客観的にみて決めておりトラブルや訴えがあれば随時席替え等して交流が楽しめるように支援している		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院時はお見舞いや洗濯物を取りに言ったり、退院後他施設へ移行された方とは面会等交流を図っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の関わりの中で本人の思いや意向の把握に努め困難な場合は家族と相談し本人の思いに近づけるように取り組んでいる	コミュニケーションを図り表情や動作で本人の思いを把握できるように努めている。把握した事は記録や申し送りで共有している。困難な利用者には、家族や職員間で話し合い本人中心の支援を行っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人や家族から生活歴、環境等の情報を収集し、情報が足りない場合は以前利用していた施設、病院にも連絡して随時連絡を取り合っている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者との会話や表情、行動などの生活リズムから心身状態の把握に努めている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケア会議では居室担当者、個人のケア記録から本人の現状について情報を共有して家族、本人の意向を聞き現状にあった介護計画の振り返りと作成を行っている	本人や家族からの意向を聞き、ケア会議で情報やアイデアなど取り入れ介護計画を作成している。モニタリングは6ヶ月毎に行い、現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個々のケアプランに添い実施し日々の様子を個別記録に記入し本人のできる事等の情報を含め職員間で共有し介護記録の見直しに生かしている</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>当施設には色々な事業所が併設されている為、その時々ニーズに応じて他の事業所と情報を共有し柔軟なサービスの支援に努めている</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>保育園児や婦人会、老連などの各種団体の慰問を楽しんだり消防署立会いの訓練に参加し安全に暮らせるように支援しています</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入居時かかりつけ医について説明し、常時体調の変化に注意しながらかかりつけ医、必要に応じて専門の医療機関を受診するなど状況にあわせて適切な医療が受けられるように支援している</p>	<p>かかりつけ医は本人や家族の希望に任せている。必要時は眼科や歯科・外科などに受診を支援している。受診後は家族に報告し、状況に応じ適切な医療が受けられるように体制を取っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	かかりつけ医の看護師、特養、デイサービスセンターの看護職員と連携をとり相談しながら利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院中は面会に行き本人の状態を病院関係者と情報交換を行い早期退院への話いや退院時はサマリー等にて細かい情報の収集を行なっている		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	グループホームには看護職員が居ない為医療行為が出来ないことを伝え、重度化した場合には本人や家族の意向を聞き、今後の方針を共有し関係者と共に支援に取り組んでいある	入居時に事業所の方針を説明している。医療行為はできないので重度化した時の本人や家族の意向を聞きながら、関係者と連携を図り支援に取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	病院の看護師や特養、デイサービスセンターの看護職員の指示、助言、急変時の対応マニュアルにて勉強会、訓練を行い緊急時の対応を身につけている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>災害に備えた避難訓練を利用者と共に年2回実施、消防署にもご協力を頂き日中、夜間を想定した訓練と避難方法の確認を行い隣接の特養とも連携を密にしている</p>	<p>火災避難訓練は消防署の指導の下、年2回昼・夜間想定で実施している。台風時等の避難場所は隣接の施設である。避難経路を確認し特別養護老人ホーム職員と一緒に実施している。備蓄は飲料水・カレーライス・おにぎり・ラーメン等を用意し、毛布・オムツなども準備している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	島言葉などを使い個々にあった声掛けを行い、排泄の有無を尋ねるときは声のトーンを抑え自尊心を傷つけないよう配慮した声かけや対応を行っている	プライバシー確保のマニュアルを基に研修を年1回実施している。排泄の誘導時の言葉かけには特に気を付けながら行っている。人格の尊重とプライバシーを損ねない支援を行っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人とコミュニケーションを図るなかで本人の思いや希望が引き出せるように支援する		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人一人のペースを大切に、その日の本人の体調、思いに合わせて過していただけるように支援している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	起床時には髪を整えたり、外出や行事等の時は一緒に洋服を選んだり化粧したり支援している。なじみの美容室に出かけパーマや毛染めの支援をしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	野菜の下ごしらえ、片付け、お膳拭き等、食事に関する作業を個々の力や役割にあわせて職員と一緒にこなしている。偏食がある方にも美味しく食べられるように工夫している	園庭でお茶を楽しんだりおやつを持ってドライブにでかけたり、食事は個々に合わせた形態で支援している。家族と一緒に事業所で年1回のバイキングなど、食事を楽しむ支援を行っている。野菜の下拵えや台拭き・配膳など、職員と一緒にしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士の献立によりバランスのよい食事の提供が出来、咀嚼、嚥下等一人一人の状態にあわせて食事形態を提供している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後声掛けを実施し、義歯洗浄の介助を行い、一人一人の力に応じた口腔ケアの支援を行っている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄は出来るだけトイレで行なえるように、一人一人の排泄パターンを把握し、声掛け誘導を行なっている。トイレの手すり等を使用して排泄の自立支援を行なっている	個々の排泄パターンを把握しトイレ誘導を行っている。自室にトイレがあることで手すりを活用して排泄の自立につながっている。リハビリパンツからパンツ使用になるなど、排泄の自立に向けた支援を行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日の排便チェックを行い、レクレーションや散歩で適度な運動を促し、ヨーグルトなどの食材を取り入れ便秘があれば医師に相談し緩下剤の服用を行なっている		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴日は決まっているが本人の体調や拒否する場合は無理強いせず、日時を変更し個々に応じた入浴の支援を行なっている	入浴日は決まっているが、体調や本人の希望で、入浴できるように支援している。シャワー浴や浴槽に浸るなどしている。個々の好みを聞き、入浴剤や保湿剤を使用し、入浴支援を行っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中は個々の居室やホールで寛ぎ、夜間は居室の室温や寝具の状態、入眠状況の確認を行い安心して入眠出来るように支援している		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の内容は職員が把握していつでも確認できるようにファイルに閉じてある。症状の変化時には受診又は回診で主治医に上申指示を仰ぎ服薬支援を行なっている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの力に応じた役割や楽しみごと（パズル、塗り絵、野菜の下ごしらえ等）個々の好みや得意なことが楽しめる場を設け喜びが持てるように支援している		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	職員との買い物。家族との外出、又地域のイベントに参加し天気の良い日は実家に帰りたいたいという方とドライブがてら自宅まで出かけたたり外出の機会を増やしている	天気の良い日は園庭に出て花への水やりや外気浴を楽しんでいる。職員と買い物やドライブに出かけたり、家族と一緒に外出したり、日常的に外出できるように支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人と家族の希望に応じている。希望があれば一緒に出かけ買い物の支援をしている		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	家族へグループホーム便りを送付したり、電話を掛ける機会を作っている。電話がかかってきたときは直ぐに取り次ぎ支援している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ホール共有スペースは常に整理整頓を行い利用者が居心地良く過せるようにしている。季節感を感じられように工夫し季節の行事を大切にしている</p>	<p>ホール内は明るく温度・湿度を調整し、差し入れの季節の花が飾られている。ソファでテレビを見たり、パズルを楽しむ等、ゆったりとして居心地よく過ごせる工夫がされている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ホールにソファを置き、自由に過していただける場を設け、テーブル席は身体的なことも含めその人の居心地の良い場所になるように工夫している</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>本人が使い慣れた家具や思い出の品や写真等を居室に飾り落ち着いて、居心地良く過せるように工夫している</p>	<p>本人の使い慣れた家具・テレビ・ラジオ・位牌を持ち込み、家族写真・自作のぬり絵などを飾り、本人が安心して居心地よく暮らせるような工夫を行っている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>玄関入り口よりホール廊下等に手すりが設置され、各居室には洗面台、タンス、ベット、トイレがありトイレには手すりがあり自立した生活が安全に送れる様に工夫している</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない